令和 2 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　高知県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	あき総合病院	2
-	幡多けんみん病院	3
土佐市	土佐市民病院	4
四万十市	市民病院	5
本山町	嶺北中央病院	6
いの町	いの町立国民健康保険仁淀病院	7
佐川町	高北国保病院	8
梼原町	国保梼原病院	9
大月町	国保大月病院	10
高知県・高知市病院企業団	高知医療センター	11

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	高知県

市町村・組合名	
病院名	あき総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	20,771 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨　へ災　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	175	82.4	89.7	91.2
療養	-	-	-	-
結核	5	1.0	6.3	12.5
精神	90	86.1	88.9	87.6
感染症	-	-	-	-
計	270	82.2	87.9	88.6
平均在院日数（一般病床のみ）		17.0	17.5	17.7

設立団体の状況		
人口 (人)		691,527
決算規模 (千円)		492,330,159
標準財政規模 (千円)		267,552,500
財政力指数		0.27382
経常収支比率 (%)		96.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.6
	将来負担比率 (%)	187.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	72.2
修正医業収益 (千円)	4,057,037

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,161,767			
１経常収益	6,038,654			
（１）医業収益	4,231,439			
①入院収益	2,806,682			
②外来収益	1,182,609			
診療収入計	3,989,291			
③その他医業収益	242,148			
（うち他会計負担金）	174,402			
（２）医業外収益	1,807,215			
（うち国・都道府県補助金）	242,082			
（うち他会計補助・負担金）	1,295,178			
（うち長期前受金戻入）	252,564			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	123,113			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	6,092,173			
２経常費用	5,940,284			
（１）医業費用	5,617,331			
①職員給与費	3,309,098	78.2	62.1	66.1
②材料費	691,117	16.3	25.3	19.8
（うち薬品費）	340,399	8.0	13.5	10.0
（うち薬品費以外の医薬材料費）	350,689	8.3	11.4	9.3
③減価償却費	341,484	8.1	9.5	10.2
④経費	1,212,268	28.6	22.7	28.2
（うち委託料）	770,791	18.2	12.6	13.6
⑤研究研修費	11,377			
⑥資産減耗費	51,987			
（２）医業外費用	322,953			
（うち支払利息）	91,089	2.2	1.3	1.6
（３）特別損失	151,889			
損益 経常損益	98,370			
損益 純損益	69,594			
累積欠損金	8,392,725			
経常収支比率	101.7		101.9	99.9
医業収支比率	75.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	34.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	76.9		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	24,088,067
１固定資産	18,332,593
（１）有形固定資産	17,601,269
（２）無形固定資産	11,371
（３）投資その他の資産	719,953
２流動資産	5,755,474
（１）現金及び預金	3,215,911
（２）未収金及び未収収益	2,360,827
（３）貸倒引当金（△）	1,794
（４）貯蔵品	180,530
３繰延資産	-
負債合計	26,455,169
１固定負債	18,822,169
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,297,037
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,509,339
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	3,015,793
（７）リース債務	-
２流動負債	3,608,756
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,371,070
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	517,945
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,646,742
（９）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	4,024,244
（１）長期前受金	14,006,674
（２）長期前受金収益化累計額（△）	9,982,430
資本合計	-2,367,102
１資本金	9,073,996
２剰余金	-11,441,098
（１）資本剰余金	1,179,892
（２）利益剰余金	-12,620,990
負債・資本合計	24,088,067
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	2,367,102
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,417,398	1,469,580
資本勘定繰入	189,900	222,065
計	1,607,298	1,691,645

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	118.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	高知県

市町村・組合名	
病院名	幡多けんみん病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,023 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感へ災　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	291	68.2	68.8	65.6
療養	-	-	-	-
結核	28	0.5	2.0	2.0
精神	-	-	-	-
感染症	3	-	-	-
計	322	61.7	63.0	60.0
平均在院日数（一般病床のみ）		12.8	12.9	13.0

設立団体の状況		
人口 (人)		691,527
決算規模 (千円)		492,330,159
標準財政規模 (千円)		267,552,500
財政力指数		0.27382
経常収支比率 (%)		96.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.6
	将来負担比率 (%)	187.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	78.9
修正医業収益 (千円)	6,275,126

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,410,816			
１ 経常収益	8,222,923			
（１）医業収益	6,433,432			
① 入院収益	4,329,678			
② 外来収益	1,785,288			
診療収入計	6,114,966			
③ その他医業収益	318,466			
（うち他会計負担金）	158,306			
（２）医業外収益	1,789,491			
（うち国・都道府県補助金）	261,610			
（うち他会計補助・負担金）	1,084,455			
（うち長期前受金戻入）	422,766			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	187,893			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	8,626,870			
２ 経常費用	8,435,581			
（１）医業費用	7,955,821			
① 職員給与費	4,192,541	65.2	62.1	63.5
② 材料費	1,498,393	23.3	25.3	24.9
（うち薬品費）	826,278	12.8	13.5	12.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	667,821	10.4	11.4	11.8
③ 減価償却費	648,711	10.1	9.5	10.0
④ 経費	1,582,032	24.6	22.7	21.7
（うち委託料）	953,238	14.8	12.6	12.2
⑤ 研究研修費	20,949			
⑥ 資産減耗費	13,195			
（２）医業外費用	479,760			
（うち支払利息）	133,577	2.1	1.3	1.4
（３）特別損失	191,289			
損益 経常損益	-212,658			
損益 純損益	-216,054			
累積欠損金	4,228,265			
経常収支比率	97.5		101.9	101.7
医業収支比率	80.9		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.3		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	82.7		89.3	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	24,088,067
１ 固定資産	18,332,593
（１）有形固定資産	17,601,269
（２）無形固定資産	11,371
（３）投資その他の資産	719,953
２ 流動資産	5,755,474
（１）現金及び預金	3,215,911
（２）未収金及び未収収益	2,360,827
（３）貸倒引当金（△）	1,794
（４）貯蔵品	180,530
３ 繰延資産	-
負債合計	26,455,169
１ 固定負債	18,822,169
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,297,037
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,509,339
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	3,015,793
（７）リース債務	-
２ 流動負債	3,608,756
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,371,070
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	517,945
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,646,742
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	4,024,244
（１）長期前受金	14,006,674
（２）長期前受金収益化累計額（△）	9,982,430
資本合計	-2,367,102
１ 資本金	9,073,996
２ 剰余金	-11,441,098
（１）資本剰余金	1,179,892
（２）利益剰余金	-12,620,990
負債・資本合計	24,088,067
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	2,367,102
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,179,865	1,242,761
資本勘定繰入	743,212	1,083,859
計	1,923,077	2,326,620

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	118.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	土佐市
病院名	土佐市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	13,146 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨　災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	150	77.0	87.1	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	77.0	87.1	84.5
平均在院日数（一般病床のみ）		15.0	18.0	18.6

設立団体の状況		
人口 (人)		25,732
決算規模 (千円)		16,776,921
標準財政規模 (千円)		7,777,015
財政力指数		0.39
経常収支比率 (%)		89.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.0
	将来負担比率 (%)	77.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	83.4
修正医業収益 (千円)	2,957,408

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	104,679	104,679
資本勘定繰入	171,117	171,117
計	275,796	275,796

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,250,048			
１ 経常収益	4,177,830			
（１）医業収益	3,027,594			
① 入院収益	1,739,603			
② 外来収益	1,121,526			
診療収入計	2,861,129			
③ その他医業収益	166,465			
（うち他会計負担金）	70,186			
（２）医業外収益	1,150,236			
（うち国・都道府県補助金）	922,574			
（うち他会計補助・負担金）	34,493			
（うち長期前受金戻入）	174,294			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	72,218			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,675,926			
２ 経常費用	3,603,699			
（１）医業費用	3,547,786			
① 職員給与費	2,215,640	73.2	62.1	67.4
② 材料費	408,880	13.5	25.3	17.7
（うち薬品費）	168,445	5.6	13.5	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	240,435	7.9	11.4	8.8
③ 減価償却費	270,309	8.9	9.5	10.7
④ 経費	623,867	20.6	22.7	29.2
（うち委託料）	227,973	7.5	12.6	13.9
⑤ 研究研修費	3,218			
⑥ 資産減耗費	25,872			
（２）医業外費用	55,913			
（うち支払利息）	51,339	1.7	1.3	1.5
（３）特別損失	72,227			
損益 経常損益	574,131			
損益 純損益	574,122			
累積欠損金	-			
経常収支比率	115.9		101.9	100.3
医業収支比率	85.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	2.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	2.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	113.0		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	7,339,779
１ 固定資産	3,954,144
（１）有形固定資産	3,947,359
（２）無形固定資産	661
（３）投資その他の資産	6,124
２ 流動資産	3,385,635
（１）現金及び預金	2,088,993
（２）未収金及び未収収益	1,274,651
（３）貸倒引当金（△）	328
（４）貯蔵品	21,319
３ 繰延資産	-
負債合計	4,255,931
１ 固定負債	3,683,314
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,713,246
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	970,068
（７）リース債務	-
２ 流動負債	529,893
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	255,015
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	115,394
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	153,417
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	42,724
（１）長期前受金	866,613
（２）長期前受金収益化累計額（△）	823,889
資本合計	3,083,848
１ 資本金	2,970,723
２ 剰余金	113,125
（１）資本剰余金	3,904
（２）利益剰余金	109,221
負債・資本合計	7,339,779
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	四万十市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	11,392 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	48.1	61.1	68.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	48.1	61.1	68.3
平均在院日数（一般病床のみ）		22.3	20.5	21.9

設立団体の状況		
人口（人）		32,694
決算規模（千円）		27,045,992
標準財政規模（千円）		12,222,218
財政力指数		0.35
経常収支比率（%）		90.6
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.1
	将来負担比率（%）	84.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	78.1
修正医業収益（千円）	1,201,017

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	146,219	258,794
資本勘定繰入	65,079	51,661
計	211,298	310,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	56,321	4.7
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	206.0
健全化法上の資金不足額（千円）	56,321
健全化法上の資金不足比率（%）	4.6
地財法上の資金不足額（千円）	56,321
地財法上の資金不足比率（%）	4.6

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,648,697			
１ 経常収益	1,612,480			
（１）医業収益	1,201,017			
① 入院収益	599,637			
② 外来収益	570,307			
診療収入計	1,169,944			
③ その他医業収益	31,073			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	411,463			
（うち国・都道府県補助金）	118,254			
（うち他会計補助・負担金）	258,794			
（うち長期前受金戻入）	27,815			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	36,217			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,646,250			
２ 経常費用	1,606,394			
（１）医業費用	1,537,253			
① 職員給与費	957,962	79.8	62.1	78.9
② 材料費	176,653	14.7	25.3	15.6
（うち薬品費）	106,483	8.9	13.5	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	69,427	5.8	11.4	6.0
③ 減価償却費	92,493	7.7	9.5	11.7
④ 経費	301,599	25.1	22.7	31.2
（うち委託料）	171,042	14.2	12.6	14.3
⑤ 研究研修費	574			
⑥ 資産減耗費	7,972			
（２）医業外費用	69,141			
（うち支払利息）	17,292	1.4	1.3	1.7
（３）特別損失	39,856			
損益 経常損益	6,086			
損益 純損益	2,447			
累積欠損金	2,473,941			
経常収支比率	100.4		101.9	100.3
医業収支比率	78.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	15.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	84.3		89.3	76.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	2,037,891
１ 固定資産	1,652,675
（１）有形固定資産	1,652,040
（２）無形固定資産	635
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	385,216
（１）現金及び預金	68,516
（２）未収金及び未収収益	319,836
（３）貸倒引当金（△）	30,860
（４）貯蔵品	27,724
３ 繰延資産	-
負債合計	2,346,589
１ 固定負債	1,313,179
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	673,191
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	639,988
（７）リース債務	-
２ 流動負債	538,385
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	96,848
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	100,000
（５）引当金	78,231
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	200,000
（８）未払金及び未払費用	44,296
（９）前受金及び前受収益	460
３ 繰延収益	495,025
（１）長期前受金	1,202,987
（２）長期前受金収益化累計額（△）	707,962
資本合計	-308,698
１ 資本金	2,161,635
２ 剰余金	-2,470,333
（１）資本剰余金	3,608
（２）利益剰余金	-2,473,941
負債・資本合計	2,037,891
不良債務	56,321
実質資金不足額	56,321
資本不足額（△）	308,698
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	本山町
病院名	嶺北中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,235 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救 臨　へ
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	66.7	72.3	75.8
療養	44	76.8	78.1	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	71.2	74.9	78.5
平均在院日数（一般病床のみ）		18.9	18.6	18.7

設立団体の状況		
人口 (人)		3,261
決算規模 (千円)		5,171,430
標準財政規模 (千円)		2,358,270
財政力指数		0.17
経常収支比率 (%)		96.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.0
	将来負担比率 (%)	25.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	74.1
修正医業収益 (千円)	1,071,114

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,296	257,437
資本勘定繰入	119,618	203,490
計	374,914	460,927

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,650,186			
１ 経常収益	1,617,486			
（１）医業収益	1,109,388			
① 入院収益	615,527			
② 外来収益	383,231			
診療収入計	998,758			
③ その他医業収益	110,630			
（うち他会計負担金）	38,274			
（２）医業外収益	508,098			
（うち国・都道府県補助金）	148,981			
（うち他会計補助・負担金）	219,163			
（うち長期前受金戻入）	79,606			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	32,700			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,586,277			
２ 経常費用	1,553,577			
（１）医業費用	1,445,646			
① 職員給与費	903,880	81.5	62.1	78.9
② 材料費	122,831	11.1	25.3	15.6
（うち薬品費）	72,594	6.5	13.5	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	43,662	3.9	11.4	6.0
③ 減価償却費	117,633	10.6	9.5	11.7
④ 経費	292,731	26.4	22.7	31.2
（うち委託料）	123,185	11.1	12.6	14.3
⑤ 研究研修費	8,571			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	107,931			
（うち支払利息）	30,390	2.7	1.3	1.7
（３）特別損失	32,700			
損益 経常損益	63,909			
損益 純損益	63,909			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.1		101.9	100.3
医業収支比率	76.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	15.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	87.5		89.3	76.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,629,357
１ 固定資産	3,088,038
（１）有形固定資産	3,063,393
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	24,645
２ 流動資産	541,319
（１）現金及び預金	71,195
（２）未収金及び未収収益	460,714
（３）貸倒引当金（△）	2,359
（４）貯蔵品	11,769
３ 繰延資産	-
負債合計	2,996,471
１ 固定負債	1,564,439
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,512,769
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	51,670
（７）リース債務	-
２ 流動負債	442,338
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,630
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	51,071
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	100,000
（８）未払金及び未払費用	103,693
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	989,694
（１）長期前受金	1,636,490
（２）長期前受金収益化累計額（△）	646,796
資本合計	632,886
１ 資本金	629,170
２ 剰余金	3,716
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	3,716
負債・資本合計	3,629,357
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	いの町
病院名	いの町立国民健康保険仁淀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,101 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救　災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	65.9	75.6	84.8
療養	40	82.7	90.4	89.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	72.6	81.5	86.5
平均在院日数（一般病床のみ）		20.4	19.1	21.1

設立団体の状況		
人口 (人)		21,374
決算規模 (千円)		17,685,380
標準財政規模 (千円)		8,177,579
財政力指数		0.36
経常収支比率 (%)		92.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	68.1
修正医業収益 (千円)	994,179

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,926,583			
1 経常収益	1,886,683			
(1) 医業収益	1,040,655			
① 入院収益	611,261			
② 外来収益	294,629			
診療収入計	905,890			
③ その他医業収益	134,765			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	846,028			
(うち国・都道府県補助金)	130,177			
(うち他会計補助・負担金)	185,373			
(うち長期前受金戻入)	62,962			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39,900			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,066,919			
2 経常費用	2,024,684			
(1) 医業費用	1,459,112			
① 職員給与費	848,434	81.5	62.1	67.4
② 材料費	128,571	12.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	7,919	0.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,975	11.2	11.4	8.8
③ 減価償却費	108,639	10.4	9.5	10.7
④ 経費	370,567	35.6	22.7	29.2
(うち委託料)	171,878	16.5	12.6	13.9
⑤ 研究研修費	490			
⑥ 資産減耗費	2,411			
(2) 医業外費用	565,572			
(うち支払利息)	23,210	2.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	42,235			
損益 経常損益	-138,001			
損益 純損益	-140,336			
累積欠損金	1,615,569			
経常収支比率	93.2		101.9	100.3
医業収支比率	71.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	81.7		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,341,132
1 固定資産	2,718,550
(1) 有形固定資産	2,651,257
(2) 無形固定資産	748
(3) 投資その他の資産	66,545
2 流動資産	622,582
(1) 現金及び預金	30,902
(2) 未収金及び未収収益	566,876
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	24,804
3 繰延資産	-
負債合計	2,250,424
1 固定負債	1,419,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,247,912
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	171,608
(7) リース債務	-
2 流動負債	243,977
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,498
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	65,545
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	586,927
(1) 長期前受金	1,085,212
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	498,285
資本合計	1,090,708
1 資本金	2,625,859
2 剰余金	-1,535,151
(1) 資本剰余金	45,318
(2) 利益剰余金	-1,580,469
負債・資本合計	3,341,132
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	229,213	231,849
資本勘定繰入	44,562	88,375
計	273,775	320,224

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	155.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	佐川町
病院名	高北国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,215 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	56	82.4	87.3	91.7
療養	42	92.2	88.7	91.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	86.6	87.9	91.4
平均在院日数（一般病床のみ）		24.5	22.9	22.1

設立団体の状況		
人口 (人)		12,323
決算規模 (千円)		9,226,897
標準財政規模 (千円)		4,137,407
財政力指数		0.34
経常収支比率 (%)		87.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	3.5
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	83.3
修正医業収益 (千円)	1,266,669

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	169,088	175,387
資本勘定繰入	106,895	118,493
計	275,983	293,880

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,818,687			
１ 経常収益	1,782,955			
（１）医業収益	1,309,669			
① 入院収益	797,235			
② 外来収益	426,526			
診療収入計	1,223,761			
③ その他医業収益	85,908			
（うち他会計負担金）	43,000			
（２）医業外収益	473,286			
（うち国・都道府県補助金）	75,247			
（うち他会計補助・負担金）	132,387			
（うち長期前受金戻入）	90,996			
（うち資本費繰入収益）	27,870			
（３）特別利益	35,732			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,754,825			
２ 経常費用	1,718,881			
（１）医業費用	1,520,727			
① 職員給与費	889,953	68.0	62.1	78.9
② 材料費	180,359	13.8	25.3	15.6
（うち薬品費）	85,527	6.5	13.5	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	73,212	5.6	11.4	6.0
③ 減価償却費	164,950	12.6	9.5	11.7
④ 経費	283,696	21.7	22.7	31.2
（うち委託料）	118,328	9.0	12.6	14.3
⑤ 研究研修費	1,177			
⑥ 資産減耗費	592			
（２）医業外費用	198,154			
（うち支払利息）	29,149	2.2	1.3	1.7
（３）特別損失	35,944			
損益 経常損益	64,074			
損益 純損益	63,862			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.7		101.9	100.3
医業収支比率	86.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	93.5		89.3	76.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,213,525
１ 固定資産	2,207,977
（１）有形固定資産	2,143,835
（２）無形固定資産	708
（３）投資その他の資産	63,434
２ 流動資産	1,005,548
（１）現金及び預金	751,143
（２）未収金及び未収収益	241,928
（３）貸倒引当金（△）	403
（４）貯蔵品	11,880
３ 繰延資産	-
負債合計	2,005,733
１ 固定負債	1,438,439
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,428,233
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	7,562
（７）リース債務	2,644
２ 流動負債	315,078
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,502
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	67,298
（６）リース債務	2,644
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	69,895
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	252,216
（１）長期前受金	875,209
（２）長期前受金収益化累計額（△）	622,993
資本合計	1,207,792
１ 資本金	748,527
２ 剰余金	459,265
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	459,265
負債・資本合計	3,213,525
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	梼原町
病院名	国保梼原病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,884 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救　臨　へ　輪
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	50.2	62.1	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	50.2	62.1	57.9
平均在院日数（一般病床のみ）		15.9	17.9	15.4

設立団体の状況

人口 (人)		3,307
決算規模 (千円)		8,288,737
標準財政規模 (千円)		2,928,700
財政力指数		0.13
経常収支比率 (%)		88.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.0
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	59.8
修正医業収益 (千円)	312,790

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	130,515	137,070
資本勘定繰入	33,476	33,476
計	163,991	170,546

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	60.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	503,475			
１ 経常収益	500,425			
（１）医業収益	349,084			
① 入院収益	126,436			
② 外来収益	162,106			
診療収入計	288,542			
③ その他医業収益	60,542			
（うち他会計負担金）	36,294			
（２）医業外収益	151,341			
（うち国・都道府県補助金）	43,403			
（うち他会計補助・負担金）	100,776			
（うち長期前受金戻入）	2,531			
（うち資本費繰入収益）	3,313			
（３）特別利益	3,050			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	548,014			
２ 経常費用	544,964			
（１）医業費用	523,461			
① 職員給与費	352,912	101.1	62.1	89.0
② 材料費	36,880	10.6	25.3	14.0
（うち薬品費）	23,420	6.7	13.5	7.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	10,019	2.9	11.4	5.4
③ 減価償却費	24,504	7.0	9.5	13.0
④ 経費	108,993	31.2	22.7	47.1
（うち委託料）	51,091	14.6	12.6	22.5
⑤ 研究研修費	172			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	21,503			
（うち支払利息）	7,864	2.3	1.3	1.3
（３）特別損失	3,050			
損益 経常損益	-44,539			
損益 純損益	-44,539			
累積欠損金	212,236			
経常収支比率	91.8		101.9	98.5
医業収支比率	66.7		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.4		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	39.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	27.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	66.7		89.3	64.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	980,277
１ 固定資産	567,299
（１）有形固定資産	567,154
（２）無形固定資産	145
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	412,978
（１）現金及び預金	308,510
（２）未収金及び未収収益	96,171
（３）貸倒引当金（△）	540
（４）貯蔵品	8,837
３ 繰延資産	-
負債合計	359,983
１ 固定負債	172,869
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	172,869
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	123,237
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,835
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	21,199
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	50,063
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	63,877
（１）長期前受金	190,602
（２）長期前受金収益化累計額（△）	126,725
資本合計	620,294
１ 資本金	627,530
２ 剰余金	-7,236
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-7,236
負債・資本合計	980,277
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	大月町
病院名	国保大月病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,103 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	救　へ
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	25	56.0	63.0	74.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	56.0	63.0	74.8
平均在院日数（一般病床のみ）		18.8	17.6	18.6

設立団体の状況		
人口（人）		4,434
決算規模（千円）		6,583,578
標準財政規模（千円）		2,804,376
財政力指数		0.19
経常収支比率（%）		93.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.2
	将来負担比率（%）	31.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	68.6
修正医業収益（千円）	333,230

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	107,628	115,859
資本勘定繰入	6,178	11,141
計	113,806	127,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	45.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	518,945			
１ 経常収益	515,390			
（１）医業収益	391,751			
① 入院収益	129,027			
② 外来収益	184,182			
診療収入計	313,209			
③ その他医業収益	78,542			
（うち他会計負担金）	58,521			
（２）医業外収益	123,639			
（うち国・都道府県補助金）	36,676			
（うち他会計補助・負担金）	57,338			
（うち長期前受金戻入）	13,158			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	3,555			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	500,118			
２ 経常費用	496,563			
（１）医業費用	485,511			
① 職員給与費	330,112	84.3	62.1	89.0
② 材料費	48,036	12.3	25.3	14.0
（うち薬品費）	24,248	6.2	13.5	7.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	18,702	4.8	11.4	5.4
③ 減価償却費	26,070	6.7	9.5	13.0
④ 経費	77,807	19.9	22.7	47.1
（うち委託料）	37,635	9.6	12.6	22.5
⑤ 研究研修費	375			
⑥ 資産減耗費	3,111			
（２）医業外費用	11,052			
（うち支払利息）	742	0.2	1.3	1.3
（３）特別損失	3,555			
損益 経常損益	18,827			
損益 純損益	18,827			
累積欠損金	176,544			
経常収支比率	103.8		101.9	98.5
医業収支比率	80.7		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	29.6		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	22.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	80.5		89.3	64.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	669,847
１ 固定資産	322,272
（１）有形固定資産	322,272
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	347,575
（１）現金及び預金	176,413
（２）未収金及び未収収益	166,967
（３）貸倒引当金（△）	166,677
（４）貯蔵品	4,485
３ 繰延資産	-
負債合計	213,725
１ 固定負債	57,874
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,874
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	55,125
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,796
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	20,000
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	23,329
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	100,726
（１）長期前受金	187,259
（２）長期前受金収益化累計額（△）	86,533
資本合計	456,122
１ 資本金	632,666
２ 剰余金	-176,544
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-176,544
負債・資本合計	669,847
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
高知県

市町村・組合名	高知県・高知市病院企業団
病院名	高知医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	75,965 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	40	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	548	69.4	80.0	75.3
療養	-	-	-	-
結核	20	21.2	4.3	5.2
精神	44	36.8	30.5	30.0
感染症	8	1.9	0.8	-
計	620	64.7	73.0	69.3
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.0	11.0

設立団体の状況

人口（人）		-
決算規模（千円）		-
標準財政規模（千円）		-
財政力指数		-
経常収支比率（%）		-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	78.1
修正医業収益（千円）	17,143,641

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,375,237	2,396,750
資本勘定繰入	1,399,528	1,411,682
計	3,774,765	3,808,432

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	57.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,216,888			
１ 経常収益	24,728,626			
（１）医業収益	17,653,206			
① 入院収益	12,497,165			
② 外来収益	4,079,948			
診療収入計	16,577,113			
③ その他医業収益	1,076,093			
（うち他会計負担金）	509,565			
（２）医業外収益	7,075,420			
（うち国・都道府県補助金）	3,574,456			
（うち他会計補助・負担金）	1,887,185			
（うち長期前受金戻入）	1,399,650			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	488,262			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	24,410,817			
２ 経常費用	23,354,240			
（１）医業費用	21,948,511			
① 職員給与費	10,205,749	57.8	62.1	55.8
② 材料費	5,506,765	31.2	25.3	29.8
（うち薬品費）	2,940,221	16.7	13.5	16.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	2,566,544	14.5	11.4	13.0
③ 減価償却費	2,387,084	13.5	9.5	8.7
④ 経費	3,809,909	21.6	22.7	19.7
（うち委託料）	2,627,565	14.9	12.6	12.6
⑤ 研究研修費	24,234			
⑥ 資産減耗費	14,770			
（２）医業外費用	1,405,729			
（うち支払利息）	359,825	2.0	1.3	1.2
（３）特別損失	1,056,577			
損益 経常損益	1,374,386			
損益 純損益	806,071			
累積欠損金	10,182,677			
経常収支比率	105.9		101.9	102.5
医業収支比率	80.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	95.6		89.3	93.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	36,865,673
１ 固定資産	25,221,173
（１）有形固定資産	23,814,818
（２）無形固定資産	1,110,881
（３）投資その他の資産	295,474
２ 流動資産	11,644,500
（１）現金及び預金	4,544,662
（２）未収金及び未収収益	5,860,364
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	74,840
３ 繰延資産	-
負債合計	32,589,966
１ 固定負債	24,444,483
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,253,587
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	4,190,896
（７）リース債務	-
２ 流動負債	5,485,723
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,659,760
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	633,297
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,110,532
（９）前受金及び前受収益	480
３ 繰延収益	2,659,760
（１）長期前受金	11,626,173
（２）長期前受金収益化累計額（△）	8,966,413
資本合計	4,275,707
１ 資本金	13,385,958
２ 剰余金	-9,110,251
（１）資本剰余金	1,072,426
（２）利益剰余金	-10,182,677
負債・資本合計	36,865,673
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。